

被災者支援に求められる こと

「生命を守る」から
「生きがいづくり」へ

ビッグパレットふくしま避難所県運営支援チーム
県仮設住宅等入居者支援連絡調整会議事務局
天野 和彦

生命を守る から 生きがいづくりへ

避難所での取り組み







■ 避難所入所時のコーディネート

- ・ 災害弱者が2階や3階に入居！はなぜ生まれたか
- ・ 震度5強の余震ー避難経路図と避難者名簿がない？
- ・ 支援体制は150名超！でもバラバラな動きが



司令塔の不在

「交流」と「自治」に基づき、避難所からその後の生活を見通した青写真をつくる機能も

避難所の運営組織図

◆所在地：郡山市

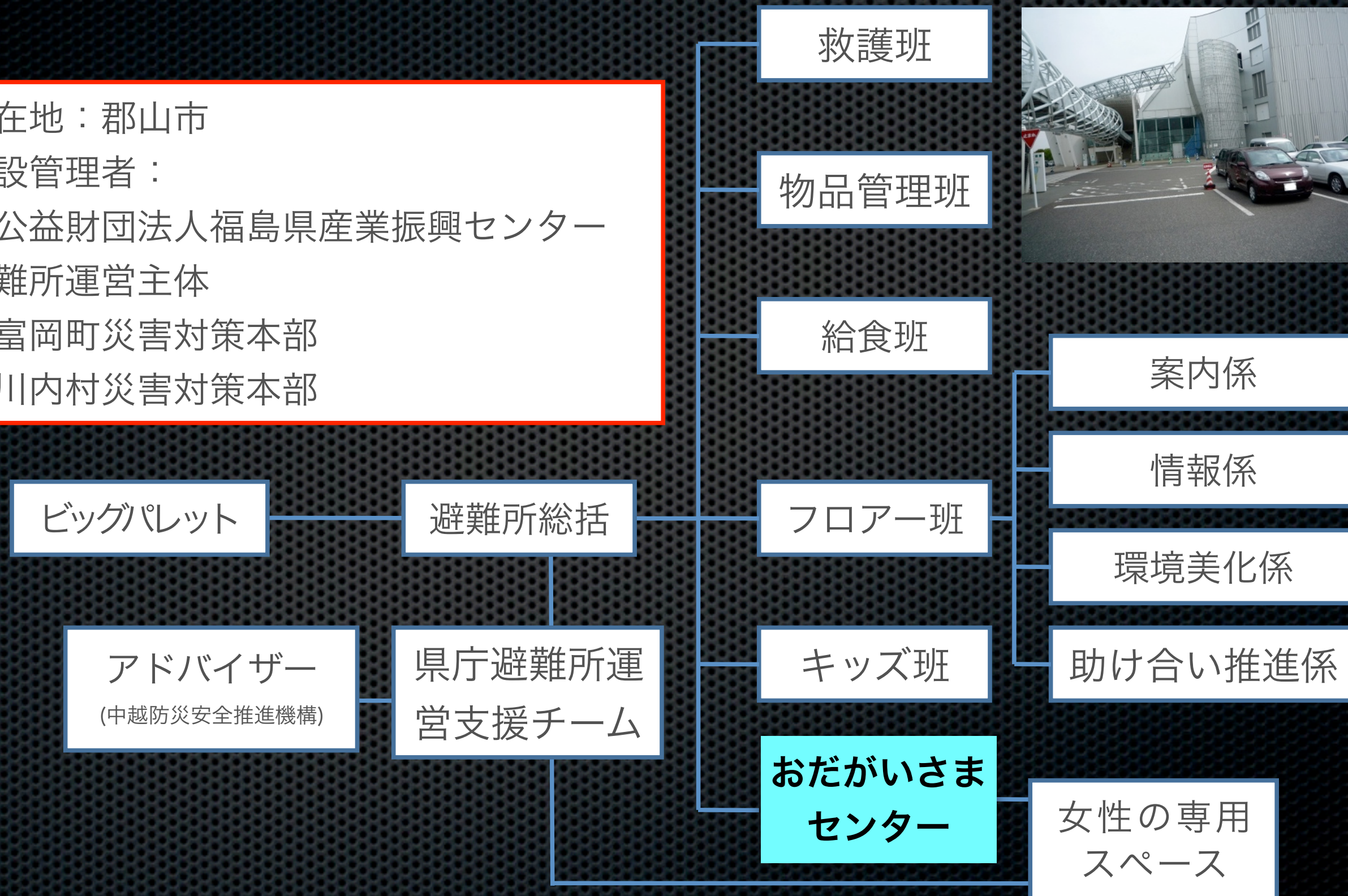
◆施設管理者：

公益財団法人福島県産業振興センター

◆避難所運営主体

富岡町災害対策本部

川内村災害対策本部





女性の専用スペース

おだがいさまFM

Q: いつ使
A: 毎日朝9時
(女性のスタッフがいまるときもあります)

Q: どんなふうに使えます?
A: ●産後、授乳、育児、子育て
●身体を元気づけたいとき
●子育ての悩み、不安、悩み、悩み
●男性の目が見えなくなる、場所
で過ごすとき
●おしゃべりしたいとき
などいろいろ

Q: 子どもも入るの?
A: もちろん入ります
小児科、学童、子育ての男の子も
保護者の女性といっしょに入ります

Q: 場所はどこにあるの?
A: 1階の多目的図書ホール (B) の奥にあります
案内図をご覧ください

女性専用スペース

女の子もあんなに、あんなに

オープン
しました。

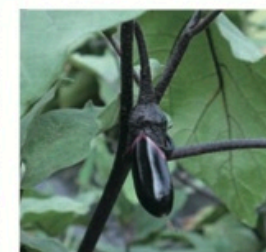
男性は
立ち入り
ご遠慮願います。

★ 畑しごと隊出動しました

第4号でもお伝えした鈴木グリーンファーム・岩瀬農業高校で作付した野菜たち。夏の強い日差しを乗り越えて、沢山の実をつけ始めていました。これからたくさんの実がなるように、畑しごと隊の皆さんが一生懸命お世話をしています。

広い畑に一面の緑。暑いながらも心地よい時間を過ごせたのではないのでしょうか。

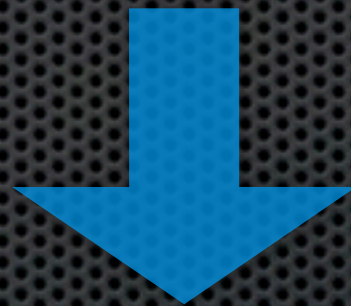
次の作付に向け、畑しごと隊のメンバーを募集する予定です!



畑しごと隊

■ 「災害弱者」への具体的支援

- ・ 女性の専用スペース誕生・・・女性への支援
- ・ おだがいさまFM誕生・・・高齢者、視覚障害者
- ・ 畑隊の誕生・・・生活不活発病、生きがい対策



避難所と「専門機関」との協働

■ 生命を守るためには自治活動だ！

・ ・ ・ 阪神と中越から学ぶ

- ・ 阪神・淡路の震災時になぜ仮設住宅で多くの孤独死が生まれたか

※ 交流の場の提供と自治活動の促進

- ・ そんなの効果あるの？ーサロン（喫茶スペース）と足湯の設置

■ 足湯の活動



■ サロンの活動





Bホール
自治会掲示板

B

■ おだがいさまセンターの取り組み

2011.5.5
県庁避難所運営支援チーム



ミッション 住民の交流と自治を守り、コミュニティを再生する



生命を守る から 生きがいづくりへ

仮設住宅等での取り組み

■ これまでの被災地に見られない 福島被災住民の傾向について

例:富岡町

仮設住宅

14.5%

借上住宅

45.5%

県外避難

40.0%

それぞれの対象ごとに支援の枠組みを構築

■ 仮設住宅への支援の枠組み ※（富岡モデル）

おだがいさま
センター



富岡町被災者支援連絡協議会



絆事業職員
コミュニティ支援



生活支援相談員

要援護者個別支援

役 場



仮設住宅
自治会

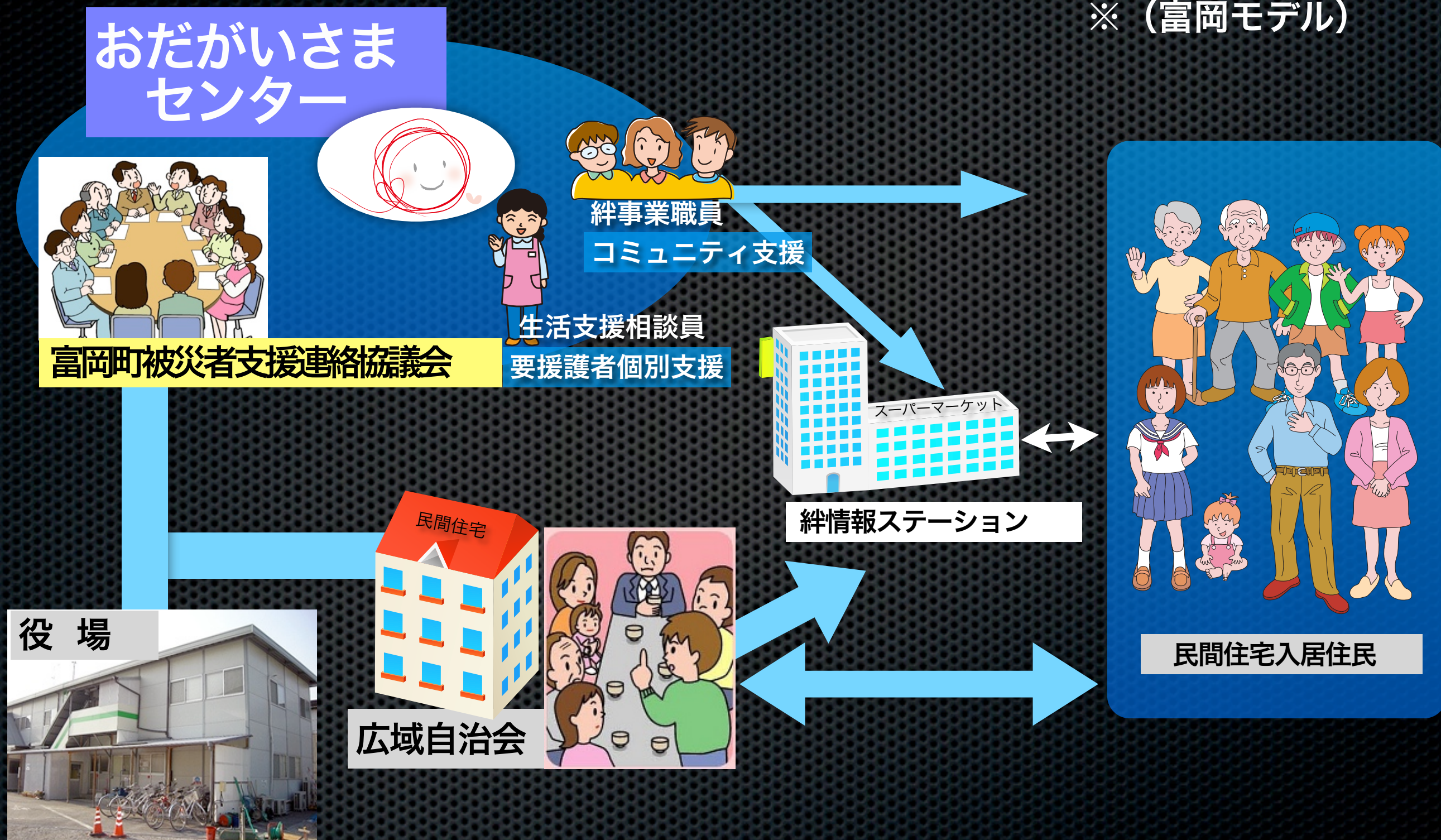


仮設住宅入居住民

おだがいさまセンターが事務局として協議会を運営

借り上げ住宅への支援の枠組み

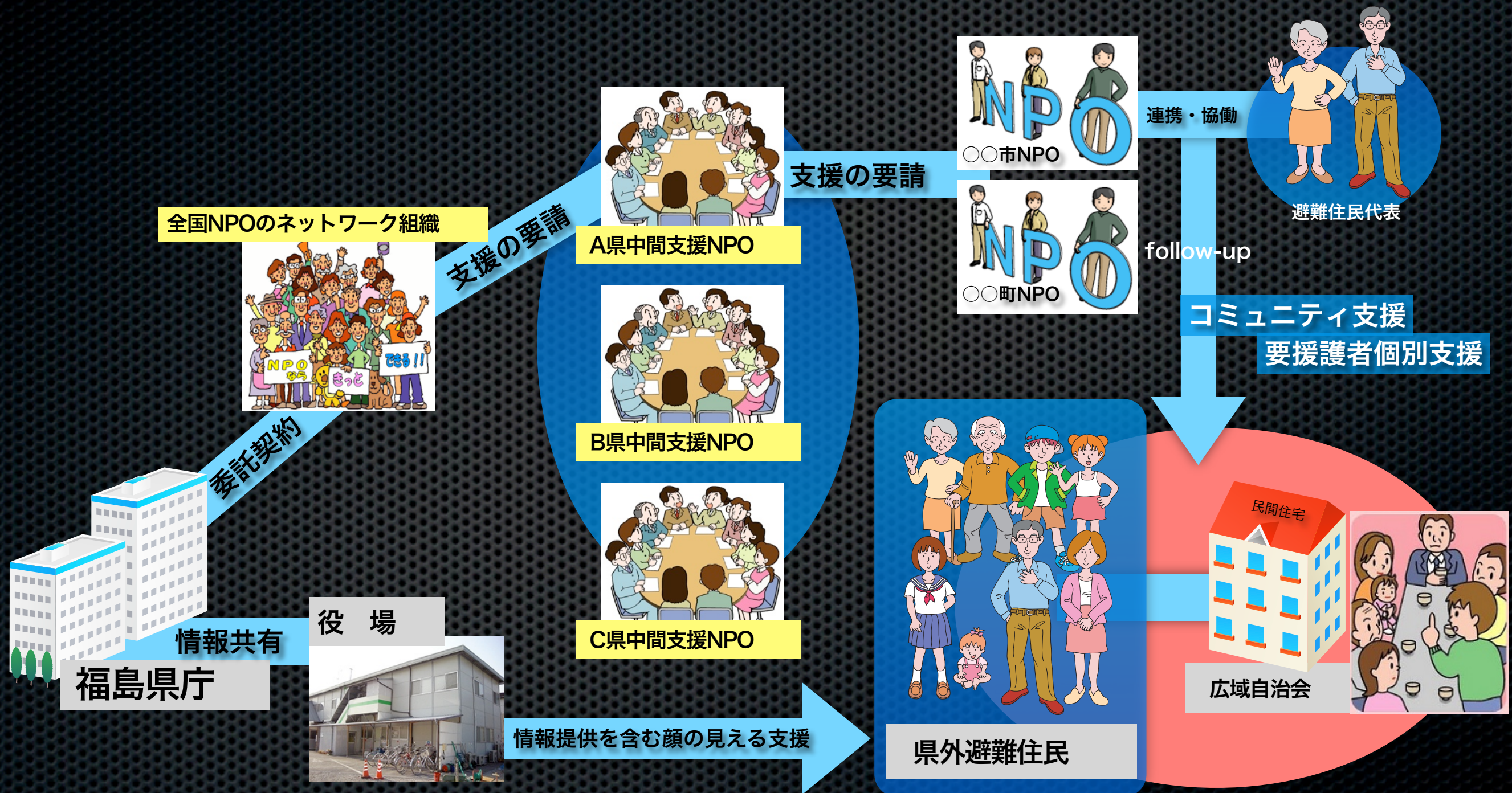
※（富岡モデル）



広域自治会を組織し、絆情報Sを活用しながら自治活動を促進

県外避難者への支援の枠組み

※（シミュレーションモデル）

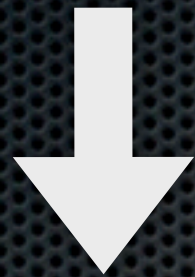


県がNPO法人に委託し、県外避難住民と協働で支援

その一方で・・・

■ 生命を守る基礎づくり

いのちを守る名簿づくり

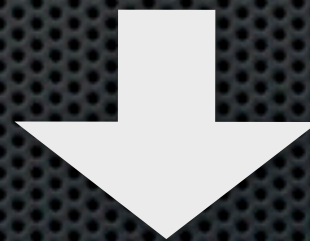


個人情報保護法の壁



役場との覚え書き

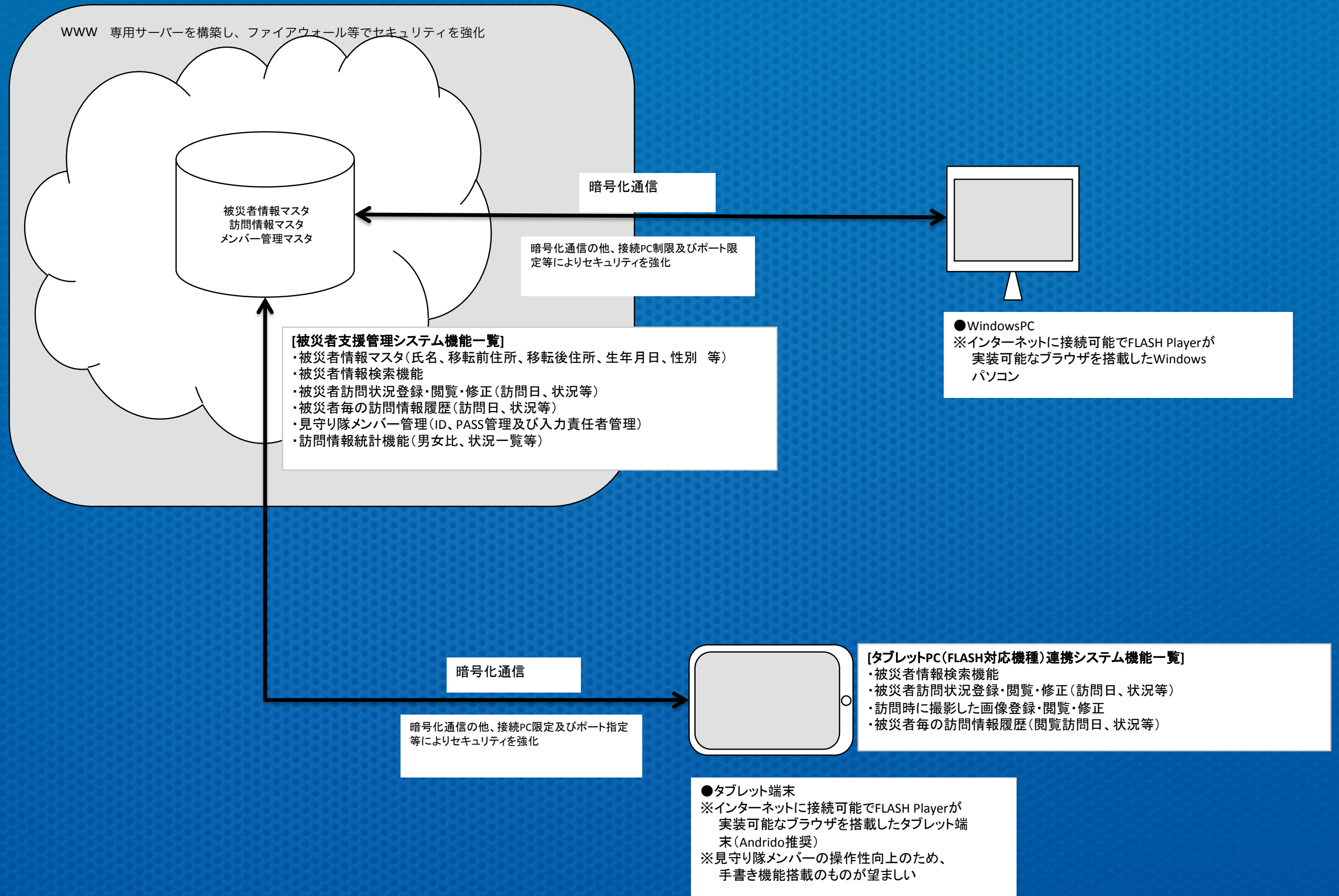
※災害時要援護者の避難支援ガイドライン（内閣府）



福祉情報と医療情報を重ねた名簿づくり
被災者支援管理システムへ

- ・ だれが
- ・ どこで
- ・ 何を課題として
- ・ どんなふうにご経過しているのか

被災者支援管理システム概要



おだがいさまセンターを
強化しながら
さらに・・・

■ 生きがいと居場所づくり

住民
の現状

多くの住民は仕事がない中、時間をもてあましアルコール依存や生産的でない時間の消費に走る傾向が強くなっている

対策

生きがいと雇用創出事業

おだがいさまセンターが
コーディネート

人材センター事業

- ・ 仕事を希望する住民の方なら登録可能な会員制事業
- ・ 臨時的かつ短期的な就業
- ・ 企業、公共団体、家庭などから仕事を受注

工房事業

- ・ 住民同士がコミュニケーションを深めながら作業をとおして生きがいをみつける場
- ・ 伝統工芸品のさくら染め関連の工芸品を製作し、販売

畑&レストラン事業

- ・ 畑で作物を生産、採れたて野菜の加工、材料を活用し調理・提供の一貫した6次化の事業

将来的には、住民自らが運営するような展開を図る